



国際ロータリー第2800地区

鶴岡西ロータリークラブ

地区方針 **「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう！**

第2539回例会 2020年8月3日(月) 会場：グランドエルサン

◆会長 佐藤一嘉 ◆幹事 辻 博智

## 会長挨拶 佐藤 一嘉



新年度に入って、今日で5回目の例会となりました。  
先ほどクラブ協議会ということで、佐藤ガバナー補佐に各委員長さん方から、  
年度計画を説明させていただきました。今後もスムーズに事業が遂行される  
ことを願っているところです。

次回の例会は17日であり、ガバナー公式訪問であります。次回の例会は17日  
であり、ガバナー公式訪問であります。

さて、今回の格言は

### 「自ら苦勞してこれを人に頒つ」

この格言は、苦勞することの真の意味と価値を示したものです。

私たちは、昨日よりも今日、今日よりも明日というように、日々に新たな進歩向上を目指し、充実した幸福な人生を求めて努力しています。

しかし、中には、自分に力がありながら十分な努力もしないで、他人や社会に依存し、求めてばかりいる人がいます。そのような人は、他人や社会に迷惑をかけてまで自分の利益をはかろうとします。これはまったく利己的な生き方です。これでは、たとえ一時的に利益を得ても、自分自身に安心がなく周囲からも疎まれて、結局、幸福になることはできません。また、自分のことに苦勞して、その結果を自分や家族だけで享受する人もいます。私たちは、苦勞してお金や物をはじめ地位や名誉などを得れば、それによってますます自分の発展をはかり、あるいは享樂を得ようとするのが普通です。確かに努力の結果は尊いものですが、それを全部自分の発展や享樂のためにだけ使う自分本位の生き方では、他人と対立し、社会の秩序を乱すことにもなりかねません。

このように努力しないで求める人も、努力して求める人も、ともにその動機が自分のことだけしか考えない利己的な心にもとづいていますから、真の安心も幸福も実現することはできません。

同じように努力していても、動機、目的、方法が異なれば、その結果も異なってきます。動機、目的、方法に誠を尽くし、さらにその苦勞の結果を自分だけのものとししないで、すすんで他の人々や社会に分ち、つねに全体の幸福をはかるように努めるのです。すなわち、自分の努力の結果を独占するのではなく、できるかぎり他人や社会に還元していくのです。

つまり、どのような場合にも、「苦勞は自分がいたします。そして、その結果は他人に分ちますから、すべての人々を幸福にしてください」と至誠慈悲の心をもって進んでいくのです。

このような生き方は、おのずから自己の品性を向上させ、心を豊かにし、真の喜びと生きかいを生み出すこととなります。

## 幹事報告 辻 博智君

- ・ロータリー財団「地区補助金」送金のお知らせ  
送金額：168,525円（1,575ドル）  
送金日：7/30
- ・会津若松西RCより水害のお見舞い電報
- ・例会終了後 第2回理事会開催の連絡



## ゲスト

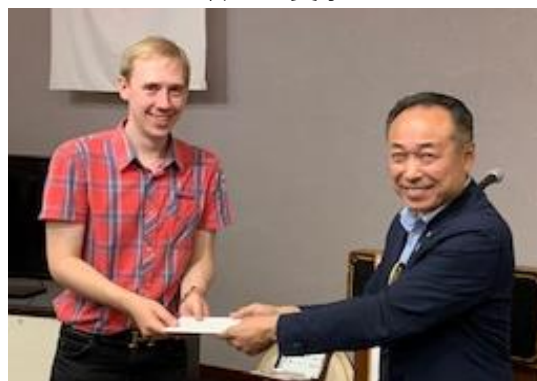
佐藤 孝子  
ガバナー補佐



アレックス君



アレックス君へ 奨学金



誕生日祝い



広報雑誌情報委員長  
菅井 保彦 君

佐藤 正晴 君  
菅井 保彦 君  
五十嵐 浩 君



ロータリーの友 8月号のみどころ

## ニコニコBOX

- ・佐藤 孝子 ガバナー補佐
- ・アレックス 君
- ・笹原 儀則 君
- ・今間 勝見 君
- ・木村 有為 君
- ・小野寺 佳克 君
- ・池田 徳博 君
- ・阿部 悦子 君

※ 佐藤孝子ガバナー補佐をお迎えしてクラブ協議会を開催しました。 11:00~12:00